

元高砂市議 緑の党グリーンズジャパン会員



[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9

Tel 079-444-2343 Fax 444-2418

E-mail:iokuioku3@gmail.com

http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも

ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

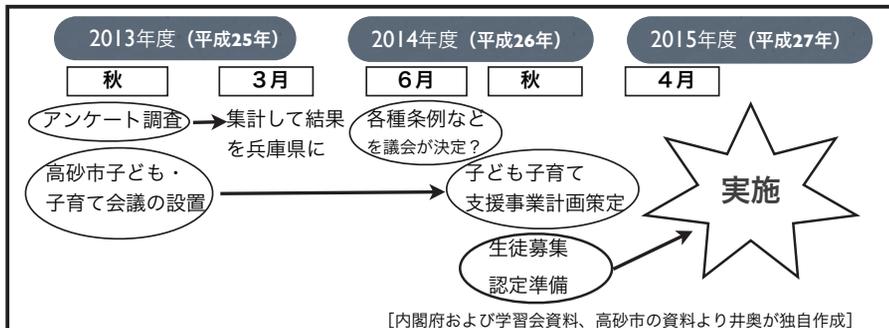
井奥まさきの市政ニュース

2013.11 (月刊+：11月号 通算76号)

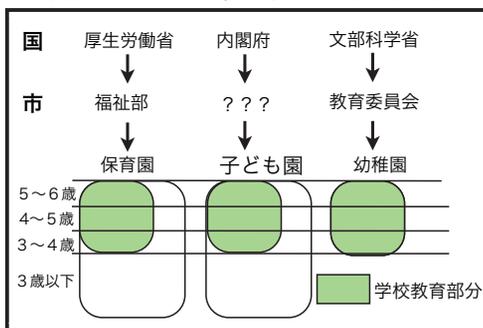
巻頭言

子育て先進市・高砂の伝統を守り、発展させていきましょう！

●子ども・子育て3法関係のスケジュール



元高砂市議 井奥まさき



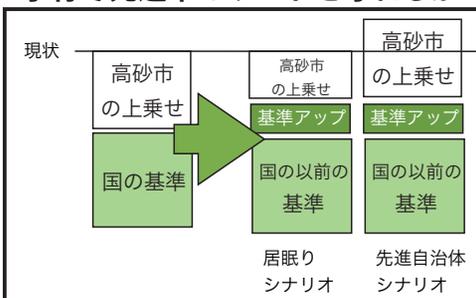
2015年の大改革を迎えて

子ども・子育て3法により

2015年度(平成27年)より子ども政策が大きく変わります。大きく言えば①措置から契約が中心に据えられます。また、②幼稚園と保育園を合わせた「子ども園」が就学前教育の中心になります。そして、③国レベルで1兆円を子育て分野で増やすとしています。(ただし、消費税10%導入が前提。)福祉で介護保険が導入された時のような大きな変化が予想

されます。そして、実施主体は「市町村」とされており、高砂市の役割は大きなものとなります。

子育て先進市のリードを守れるか



お金が増えたから、その分上乗せを減らす」となっては高砂市の良さが消えてしまいます。

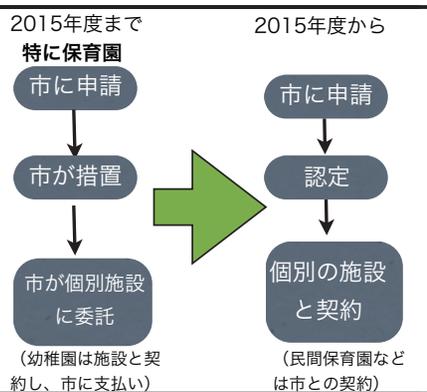
より多くの財源確保の上でムダをはぶき、サービスを増やし充実する工夫が必要です。

首長・議会・市民が知恵を

子ども園一つをとってみても市の管轄部署、3歳児保育研修、幼保の数とのバランス...など多くの課題があります。今こそ子どもたちのために首長・議会・市民が知恵と力を出し合うべきです。

○提言 子育て施策

- ・兵庫県に「3歳児保育の職員研修充実」を要請。市独自でも取り組みを。
 - ・すべて子ども園ではなく、統廃合しつつも幼稚園の維持を
 - ・ヒヤリングの充実や計画のパブコメなど市民参加をもっと充実すべき(会議録も早期公開を)
 - ・3歳児未満の受入拡充・時間延長
- ▶参考「高砂市 子ども子育て会議」で検索



特定秘密保護法 秘密を増やす法律は廃案にし、情報公開の徹底を

緑の党+井奥まさき

緑の党は特定秘密保護法に反対しています。秘密にする内容の不確定さ、なぜこの時期なのかというタイミングの問題など不透明な部分が多すぎます。「情報漏洩」については、現在の法律でも対応でき、それ以上に政府の判断で秘

密の範囲を増やすのは市民にとっては明らかにソンです。廃案にし、逆に原発情報などでは情報公開を徹底すべきとします。

さて、私は続けてこう思います。軍事機密の多いアメリカでも「2039年の真実」というケネディ

暗殺情報の情報公開のように、一定の時期がくれば公開するという仕組みがあります。一方、日本は官房機密費の使途が政権交代があっても一切公開されないなど情報公開は圧倒的に不足しています。議論は一から出直すべきです。

●今話題の特定秘密保護法について、緑の党の政策などを紹介します。

2015年度の大改革は地域に密着した子育て産業育成のチャンスでもありません。先進市にふさわしい子ども市民事業充実をのぞみます

縄張り意識の強い国ですら、ようやく縦割りの弊害をなくそうとしているのですから、高砂市も子ども課創設など子ども政策担当の一本化をすべきです。

■映画「毎日かあさん」の監督 小林聖太郎さんはピースポーター仲間。一緒に大阪で地球一周の船を出す活動をしました。先日、原発国民投票の会合で再会しました。

子育て日記 子育てエッセイや漫画…楽しく読ませていただいています…



子どもたちが書いたマンガ、ちょっとデビューは無理かな。

子育てエッセイや漫画がたくさん

最近、子育てエッセイや漫画が目立つようになりました。昔は石坂啓さんの「赤ちゃんが来た」(朝日文庫)というエッセイくらいしかなく、私は「父親になる」という心構えのつもりで娘の誕生前に買って読み、「オムツ替えをたくさんしなくてはいけないのか」と

うんざりした覚えがあります。今は週刊誌にも子育てエッセイがよく載っていますし、漫画もあります。吉田戦車さんの漫画作品「まんが親」などもいろいろ楽しんで読んでいます。

「毎日かあさん」は親子とも愛読

中でも一番大好きなのは毎日新聞連載の漫画「毎日かあさん」です。私は「まあじゃんほうろうき」以来の西原理恵子ファンでした。また、亡くなられた夫の鴨志田さんと夫婦で取材しているカンボジアなどアジア諸国がちょうど私が訪問していた時期に近く、エッセ

イや小説などで描かれるアジアの風景をなつかしく読んでいました。一方、娘や息子は映画で感動してファンに。特に娘は寝る前に必ず読むほどの愛読者です。

描かれる小学校男子のぶっ飛んだ行動が息子の行動とウリ二つで納得できるみたいです。

みんなで育児を楽しむ時代

育児はいろいろあるけど、楽しいもの、社会みんなで子どもを育てるものという気持ちが広がっているから育児モノがこれだけ売れるのでしょう。悩みも声に出しつつ、子育てを楽しみましょう！

新図書館 指定管理者導入＝民営化は図書館行政の自殺行為。撤回すべき

ようやく 2015 年度に米田多目的広場に新図書館建設が決定し、ほっとしていたら、11月20日の神戸新聞紙面を見てあきれ果てました。「新図書館に指定管理者制度を導入」と検討委員会が結論を出したということです。

私は民間の知恵と工夫でより良いサービスを提供できる分野は多

くあると考える。しかし、図書館はその性質上、もっとも民営化から遠い存在だと考えます。

まず、無料の原則があり、教育機関とされています。無料の原則ですから、民間が参入するとしても人件費削減しか工夫の余地がありません。他の公立図書館との連携や合同研修も考えれば、公務員

中心の運営で人件費を抑える工夫を考えるべきです。他にも指定管理者が数年おきに代わる危険性など、多くの問題があります。

図書館は貸本屋ではありません。本の選定や問い合わせへの対応、資料収集が図書館の質を左右します。せっかくの新図書館、質の高いものにしましょうよ。

多事総論 退職後の採用、再任用職員制度は？

高砂市の重要な争点についての議論をまとめました

□賛成 民間でも採用、人件費も安く

退職後、年金の空白期間の採用は民間大企業では法律により義務化されています。国からの指示もあり、他の自治体も制定しています。労働者の権利というだけでなく、低い人件費で経験を生かした活動もしてもらえらるから市民にもメリットがあります。

VS

□反対 人員構成に影響、行革に逆行

再任用制度は高砂市職員だけ対象です。民間も含めて広く応募する現在の「再雇用」制度で人員確保は十分。権利ばかり認めると若い世代が構成上少なくなり、再任用のための職場確保など本末転倒になりかねません。税の使われ方として疑問です。

みんなの声を集めました。

□井奥の一言 私はどちらかというと「反対」寄りの厳しい意見です。さらに登市長が失敗した人件費方針をゴマカスための職員への「アメ」ではないかと疑っています。今年は「財政再建できたとして、市長らの給与カット見直し(増額)」→「財政余裕なしとして国の指示どおり7.5%人件費削減」→「組合のスト」→「スト参加者への処分」と迷走づくしでしたから。本来は、若い世代や民間経験者を数年間は正式採用する「任期付採用」をもっと充実すべきでした。条例可決で来年度から制度が動き出します。労働者の権利は尊重しつつも採用計画では身内の論理ではなく、厳しい市民の視点を意識してほしいものですね。

フリーピン台風被害に「何か援助をしたい」という方へ。募金 口座名:玉島信用金庫勇崎支店 普通預金 口座番号 0140986 倉敷フリーピノサークル まで